

適用規格		TÜV, UL			
定 格	使用温度範囲	-25℃ ～ +105℃ (通電による温度上昇分を含む)		保存温度範囲	-10℃ ～ +60℃
	電 圧	AC, DC 600 V (TÜV, UL) AC, DC 1000 V		—————	—————
	電 流	16 A (1.25mm ² 電線使用時) 21 A (2mm ² 電線使用時) 30 A (3.5mm ² 電線使用時) 40 A (5.5mm ² 電線使用時)		適合ケーブル	1.25mm ² (AWG 16) 2mm ² (AWG 14) 3.5mm ² (AWG 12) 5.5mm ² (AWG 10)
性 能					
	項 目	試 験 方 法		規 格	QT AT
構造 電 氣 的 性 能	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること	○ ○
	表示	目視にて確認する。			○ ○
	接触抵抗	単位コネクタを DC 1 A で測定する。		1 mΩ以下	○ —
	絶縁抵抗	DC 500 V で測定する。		1000MΩ 以上	○ —
	耐電圧	AC 2500 V の電圧を1分間印加する。 (NECA C 2811)		せん絡・絶縁破壊がないこと	○ —
	短時間耐電流	150A 1秒で測定する。(1.25mm ² 電線使用時) 240A 1秒で測定する。(2mm ² 電線使用時) 420A 1秒で測定する。(3.5mm ² 電線使用時) 660A 1秒で測定する。(5.5mm ² 電線使用時) (JIS C 8201)		接触抵抗：1.5 mΩ以下	○ —
機 械 的 性 能	圧着端子の挿抜力	適合コネクタで測定する。		挿抜力 70 N 以下	○ —
	繰り返し動作	50 回の抜き差しを行う。		①機能を損なう破損、ひび、部品の ゆるみがないこと。 ②接触抵抗：1.5mΩ 以下 ③挿抜力 70 N 以下	○ —
	耐振性 	周波数 10～55Hz、片振幅0.75mmで 3方向 各2時間試験する。 (MIL-STD-1344 方法2005条件Ⅱ)		①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○ —
	耐衝撃性	加速度 500 m/s ² 、持続時間 11 ms、 3軸計 6方向 各5回試験する。		①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○ —
	端子固定力	結線側より、150N の引き抜き力を加える。 (NECA C 2811)		破壊がないこと。	○ —
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度40±2℃、相対湿度90～95%、96時間放置 常温・常湿の室内に戻して付着した水分を拭き 取る。(NECA C 2811)		①絶縁抵抗：20MΩ以上 ②耐電圧：AC2500Vの電圧を1分間印加し、 せん絡・絶縁破壊のないこと。 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○ —
	耐寒及び耐熱試験	-25±3℃に2時間放置後取り出し、常温に1時間 放置する。その後、70±3℃に2時間放置後取り 出す。(NECA C 2811)		①絶縁抵抗：20MΩ以上 ②耐電圧：AC2500Vの電圧を1分間印加し、 せん絡・絶縁破壊のないこと。 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○ —
	エージング試験	16A (1.25mm ² 電線使用時)、21A (2mm ² 電線使用 時)、30A (3.5mm ² 電線使用時)、40A (5.5mm ² 電線 使用時)の電流印加状態で40±3℃に10分間放置 後、30℃まで冷却し、10分間放置する。この サイクルを192回実施する (JIS C 8201)		①接触抵抗：1.5mΩ 以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○ —
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
	1	DIS-C-00003876	EK. KIDO	TP. KOMATSU	20200311
備考 (注1)：上記規格値は、適合コンタクトを組み込んだ状態での値を示します。 試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512 (JIS C 5402) を適用している。			承認	YH. YAMADA	20190625
			検 図	TP. KOMATSU	20190625
			担 当	EK. KIDO	20190625
			製 図	EK. KIDO	20190625
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC-119728-00-02	
	製 品 規 格 表		製品名	EF2-D30-1	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL142-0103-0-00	 1/1